

ケ。鎌倉。ハゲセウグサ。ハゲセウ。泉州。ハゲセウ。勢州。ハゲセウ。備前。一名三葉白  
草西陽 翻白草痘疹要訣

水草ナリ、湖澤及大川ノ側ニ多シ、陸地ニ移シ栽ルモヨク繁茂ス、春宿根ヨリ生ズ、其莖圓ニシテ三四尺、葉互生ス、形橢ニシテ長ク、薯蕷葉ニ似テ尖ラズ、厚シテ深綠色縦道多シ、切レバ其臭馬兜鈴ノ如シ、五月半夏生ノ時、梢上ノ三葉ノミ、面白色ニ變ズ、背ハ然ラズ、故ニハゲセウグサ等ノ諸名アリ、其白葉ノ間ニ穗ヲ生ズ、長サ三寸許リ、小花密ニツヅリ、白色綠萼ナリ、花後細子ヲ生ズ、熟シテ苗枯ル、根ハ枯レズ、大サ筋ノ如シ、白色ニシテ甚ダ繁延ス、邵武府志曰、土人毎歲候其初一葉白插秧、至三葉俱白則爲後時矣、

増、一種琉球種ノ三白草アリ、苗高サ二尺許、莖ニ七八稜アリテ正圓ナラズ、其色紫赤色、葉莖ニ互生ス、ソノ形牛尾蒿ノ葉ニ似テ、厚ク大ニシテ縦脈五道アリ、面綠色ニシテ背淡綠ナリ、半夏生ノ候ニ至ルト雖ドモ、梢葉白色ニ變ゼズ、稀ニ一葉或ハ半片淡白色ニ變ズルコトアリ、夏ニ至レバ脚葉悉ク脱シテ、竹ノ狀ノ如シ、夏ノ末葉ニ對シテ穗ヲ生ズ、車前ノ穗ニ似テ長サ僅ニ二三寸、花實ノ形大抵尋常ノ者ニ同ジ、根ハ白色ニシテ節多ク横行シ、春ニ至テソノ節ヨリ新芽ヲ生ズ、

〔武江產物志〕藥草 尾久ノ原 三白草

〔本草和名〕十八 葎楊玄操音 一名菹菜出蘇 一名出茄音加 和名之布岐

〔倭名類聚抄〕水菜 葎 唐韻云葎 祖立反 發生秘 菜名也

〔物類稱呼〕三 葎菜 玄。う。やく。ま。ぶ。き。江戶にてどくだみといふ、武藏にてぢぢといふ、上野にてどくだ草といふ、駿河沼津にてまびとばなど云、越前にてどくだなべといふ、

〔東雅〕十三 葎シブキ 略 中 葎は味辛しと見えれば、シブキとは其味をもていひしに似たり、人或説に、葎は今俗にドクダミといふ物なりといふ、唐本草に葎菜は江南江左人好生食之、關中謂之菹菜と見え、又北戸録に、其葉腥氣、故俗以爲魚腥草など見えて、我國の如きも、古の時には菹菜と

葎菜と見え、又北戸録に、其葉腥氣、故俗以爲魚腥草など見えて、我國の如きも、古の時には菹菜と